

# 松元地区



町田家の墓

## 町田家の墓 ▶まちだけのほか

市指定／記念物／史跡

【MAP N-16】

### 薩摩藩英国留学生を率いて渡英した町田久成の先祖が眠る

町田氏は、島津家2代当主忠時の七男常陸介忠経を始まりとし、地頭や家老を輩出する名門支族である。家格は御一門につぐ領地を持てる一所持、石高は1700余石、屋敷は今の千石町に7000㎡余の屋敷を持っていた。

墓は、町田家22代久視ひさみから28代久長（薩摩藩英国留学生を率いて渡英した久成の父）が主体で、ほかに石谷城の合戦で戦死した15代梅久、17代久徳の墓や久視による改葬碑、菩提寺である永福寺の僧侶墓などがある。墓標は仏式の五輪塔を中心に石祠型であるが、明治2年（1869）に死去した久長は神式による墓標である。

また久成の母の国子は吉利よしとし（現日置市日吉町）の小松家の娘で、妹のお近ちかの夫が小松帯刀たてわきという縁で、国子の燈籠とうろうには、久長、久成などとともにも清廉（帯刀）及び帯刀の妻の名なども並び刻銘されている。

平成17年（2005）、鹿児島市の記念物（史跡）に指定された。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交 通／あいばす 町田家の墓入口バス停 ●駐車場／無

## 楠公神社跡 ▶なんこうじんじゃあと

記念物／史跡

[MAP O-17]

### 幕末に薩摩藩英国留学生の一行も参拝した



文久元年(1861)、有馬新七は古来、町田家に伝わる楠木正成くすのき まさしげの木像を御神体として石谷東集落の丸岡に楠公神社を建立し、祭ったとある。創建の際は久保利通や西郷隆盛、伊地知正治をはじめ、志を同じくする城下の者が集まったという。この木像

は、その後西郷隆盛の私学校に祭られ、現在宮之城楠公神社に祭られている。なお、幕末の薩摩藩英国留学生の一行もこの神社に参拝している。また、現在の石谷小学校の校章は楠木正成の家紋「菊水」を模したものを使っている。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 石谷小前バス停 ●駐車場／無

## 石谷の石坂 ▶いしだにのいしざか

市指定／記念物／史跡

[MAP N-17]

### 幕末の勤皇の志士、有馬新七の青年たちへの思いが伝わる



万延元年(1860)、幕末の勤皇の志士、有馬新七は石谷の領主28代町田久長の長子久成に招かれて、石谷の統治を託された。新七は石谷に移り道場を建て、青年たちに剣道を教えるとともに、夜学を起し青年たちの教育にあたったといわれる。また、

悪いことをした者に罰として遠いところから石を運ばせ、ぬかるんだ坂道を立派な石畳に仕上げた。道路はよくなり、青年たちの悪事も止んだといわれる。

新しい道路建設のため、取りこわしが計画されたが、集落の人々の熱意により保存された。

平成17年(2005)、鹿児島市の記念物(史跡)に指定された。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 毘沙門バス停 ●駐車場／無

## 有馬新七居宅跡 ▶ありましんしちきょたくあと

記念物／史跡

【MAP N-17】

石谷の領主29代町田久成により石谷の統治を託された有馬新七が2年余居住した跡である。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 毘沙門バス停 ●駐車場／無

## 石谷西の里程標 ▶いしだににしりのていひょう

記念物／史跡

【MAP N-17】

高さ90cmの角柱の4面には、「正距 鹿児島県庁三里十九町 上伊集院村石谷」のほか犬迫 日置郡役所 熊本 小倉 福岡などへの距離が示され、「明治四十一年八月更正」(明治41年→1908)とある。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 毘沙門バス停 ●駐車場／無

## 石谷の地藏像 ▶いしだにのじぞうぞう

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP N-17】

全長155cmの自然石に高さ70cmの地藏菩薩像を浮彫りにしている。現在はやや摩耗しているが往時を偲ぶことができる。背面には「文政十一年六月吉日 石谷上中」(文政11年→1828)と刻銘されている。



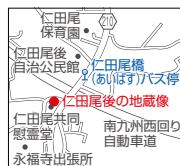
●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 毘沙門バス停 ●駐車場／無

## 仁田尾後の地藏像 ▶にたおしろのじぞうぞう

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP O-18】

風化や廃仏毀釈による破損で原型をとどめないが、1体の地藏像には「奉寄進 功德主 大山正右エ門 安政七年庚申 孟春 吉祥日」(安政7年→1860)と刻銘されている。近くには石碑も所在する。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 仁田尾橋バス停 ●駐車場／無



## 仁田尾中の御仮屋跡 ▶にたおなかのおかりやあと

記念物／史跡

【MAP O-18】

県道沿いの小丘が御仮屋の跡で、現在山の神が祭ってある。徳川幕府は寛永10年(1633) 巡見使を薩摩に遣わし、城や館の残っているものを取り除かせた。石谷城も寛永14年(1637)に館を廃し、この地に知行事務所である御仮屋を設けたとされる。

現在は、枯山水の庭園に用いられた石や古木のカエデが往時を偲ばせている。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 仁田尾団地バス停 ●駐車場／無

## 仁田尾の水神 ▶にたおのすいじん

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP O-18】

入母屋の屋根を持つ高さ68cmの石造物である。正面に「水神」、側面に「安政四丁巳正月」(安政4年→1857)などが刻銘されている。



●所在地／鹿児島市石谷町(ちびっこ広場敷地内) ●交通／あいばす 仁田尾団地バス停 ●駐車場／無

## 熊野神社 ▶くまのじんじや

有形文化財／建造物

【MAP N-16】

### 松元の領主・町田家の鎮守社



文永6年(1269)に町田家の鎮守社として建立された。祭神は、家津御子大神、速玉大神、夫須美大神で、御神体は鏡である。現在の社殿は昭和35年(1960)に改築された。旧社殿をそのまま新社殿の中に収

めており、中央に熊野神社、向かって左横に豊臣秀吉の九州進攻に最後まで抵抗し、秀吉の逆鱗に触れて自害させられた島津歳久を祭った歳久神社がある。

また境内左側には、正面奥に「天照大神宮」、側面に「寛保二壬戌年 四月吉日」(寛保2年→1742)と刻銘された石祠や宝塔の残欠がある。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 町田家の墓入口バス停 ●駐車場／無

## 石谷永福寺跡 ▶いしだにえいふくじあと

記念物／史跡

[MAP N-16]

町田氏の菩提寺であり、天正6年(1578)町田氏18代久倍によって創建されたが、廃仏毀釈で廃寺となった。現在は当時の仁王像や28代久長が寄進した手水鉢や仁王像が残っている。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 町田家の墓入口バス停 ●駐車場／有

## 石谷城跡 ▶いしだにじょうあと

記念物／史跡

[MAP N-17]

町田氏2代忠光が深い谷などの自然地形を利用して築城し、16代忠栄によって天文24年(1555)に整備され、寛永14年(1637)に廃された。中央に本丸を置き、東西には空堀で区画して、二の丸、三の丸の曲輪で構成されたものである。戦国時代に、島津本宗家についての町田氏は薩州島津家の島津実久方とこの地で合戦した。また昭和44年(1969)に現在地に移転するまで、石谷小学校が置かれた。



●所在地／鹿児島市石谷町 ●交通／あいばす 町田家の墓入口バス停 ●駐車場／無

## 小長崎神社 ▶こながさきじんじや

有形文化財／建造物

[MAP N-17]

棟札に享禄4年(1531)とあることから、既にこの頃は建立されていたことがわかる。小長崎の名は、長崎市の諏訪神社から分神されたので、つけられたとの説があり、祭神は大山津神で、御神体は鏡である。現在の社殿は昭和28年(1953)ごろ改築された。例祭日には六月燈が催される。



●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 小長崎神社バス停 ●駐車場／無

## 福山下の石橋 ▶ふくやましものいしばし

有形文化財／建造物

【MAP M-17】



路が敷設され、福山川で分断された1段高い水田から川をまたぎ、低い水田への用水を流すようになっている。作られた年代は不明であるが、近くにある水神が大正9年(1920)であるので、この年代に造られたとも考えられる。



上谷口川の支流の福山川に架かる石橋で、水田の灌漑専用の石橋である。長さ8m、幅1.4mで側辺に幅70cm、深さ40cmの水

●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 福山下バス停 ●駐車場／無

## 福山上の山伏荒神 ▶ふくやまかみのやまぶしこうじん

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP N-18】

屋敷内の雑木林の一面にあり、台座共に高さ82cmの駒形に加工した石の正面に「山伏荒神」と刻銘する。時代等は不詳。



●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 田出橋バス停 ●駐車場／無

## 福山上の里程標 ▶ふくやまかみのりていひょう

記念物／史跡

【MAP M-17】

高さ103cm、幅21cmの四角柱で、「明治四十一年八月更正」(明治41年→1908)とあり、「上伊集院村福山」を起点として、県庁、日置郡役所、熊本、小倉、福岡などへの距離が示されている。



●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 福山中バス停 ●駐車場／無

## 福山中の田の神 ▶ふくやまなかのたのかみ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP M-17】

丸彫りの立像で、右手に杓子、左手にわん椀、頭にコシキのシキをかぶる。高さは1m程の立像の田の神で、風化が著しく形式や造立年代・造立者等は不明。



●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 福山橋バス停 ●駐車場／無

## 福山下の水神碑 ▶ふくやましものすいじんひ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP M-17】

福山川に架かる矢野迫橋の下流にあり、正面に「水神」、側面に「大正九年四月廿三日」(大正9年→1920)と刻銘されている。



●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 福山下バス停 ●駐車場／無

## 福山下の阿弥陀如来石座像 ▶ふくやましものあみだによらいせきざどう

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP M-17】

乳白色の軟質の石を使用して、蓮華の輪郭を模した台座に、高さ65cm程の阿弥陀如来座像で、頭部はれんげ摩訶般若(はつげん)か風化かは定かではないが欠損している。背面には「寛永」か「寛文」とも読める刻銘があるが不明。



●所在地／鹿児島市福山町 ●交通／あいばす 福山下バス停 ●駐車場／無



## 福山中の近世石碑 ▶ふくやまなかのきんせいせきひ

記念物／史跡

【MAP M-17】

高さ90cm、幅24cmを測る石柱の側面に「奉立為二親当世菩提 当年八十八 松元門権左右衛門 元文元丙辰年十二月十五日」(元文元年→1736)と刻銘されている。「松元門」の門は、島津藩時代の農村制度である門割制度の存在を金石文として示す好資料である。また阿弥陀如来石座像は、山川石製の複弁の蓮華文をあしらう台座に白

御影石を用いた像で、全高74cm、像高60cmを測るもので、全体的に風化している。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 福山中バス停(上谷口橋近くアパート東側) ●駐車場／無

## 谷口城跡(下柵城跡 上柵城跡) ▶たにぐちじょうあと(しもかこいじょうあと かみかこいじょうあと)

記念物／史跡

【MAP M-17】

築城者は、肥後助西盛治とその子の周防介盛家で、享禄年間(1528～1532)の築城と言う。縄張りは長さ900m、幅300mの細長い丘陵で二方を河川で囲む自然の要塞である。曲輪は簡単な空堀で、土塁等も確認はできない。天文6年(1537)には島津忠良・忠将・伊集院忠朗に攻められ、竹山塁で戦死したと伝える。

なお谷口城から下谷口川を挟んだ標高約150mの丘陵地を「陣之岡」と呼称するが、詳細については不明である。小字に「陣ヶ岡」とある。



土地の人は「下柵城、上柵城」,「シモタグラ、カミタグラ」とも呼び、小字に「下柵城」,「上柵城」と残る。

●所在地／鹿児島市上谷口町・福山町 ●交通／あいばす 福山中バス停 ●駐車場／無

## 柿本神社 ▶かきもとじんじや

有形文化財／建造物

【MAP N-18】

寛文10年(1670)の創建といわれる。祭神は柿本人麻呂,御神体は鏡と額である。大正3年(1914)ごろまでは、川向こうの柿元地区の宅地内にあったが、鹿児島本線が同社の境内を横切ることになり、入佐の大鳥神社に合祀されたが、昭和21年(1946)、現在地に遷座された。例祭日には六月燈が催される。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 柿元バス停 ●駐車場／無

## 柿元の諏訪大明神 ▶かきもとのすわだいみょうじん

記念物／史跡

【MAP N-18】

末永氏、土地の人、伊集院由緒記などによれば、現在地の向かいの田原春から遷座し、代々末永氏の氏神として祭られている。寛文5年(1665)に再興になり、鹿児島城下士の仁礼氏の氏神で江戸中期までは仁礼家が祭典に参列したという。「明和八

年」(1771)「昭和二年」(1927)などの棟札が現存する。



●所在地／鹿児島市上谷口町(柿本神社入口横) ●交 通／あいばす 柿元バス停 ●駐車場／無

## 上谷口(松元小)の里程標 ▶かみたにぐち(まつもとしょう)のりていひょう

記念物／史跡

【MAP M-17】

高さ110cmの30cm四角柱面である。「伊集院村上谷口村元標 明治四十一年九月建立」(明治41年→1908)として、日置郡役所、熊本、小倉、久留米などへの距離が刻銘されている。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交 通／あいばす 役場前バス停 ●駐車場／無

## 内田下の田の神 ▶うちだしものたのかみ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP M-18】

高さ63cm、幅36cmを測る山川石の自然石を使用し、縦20cm、横15cmの田の神の顔を浮き彫りした素朴な田の神像である。表面に「天保五年」(1834)と刻銘がある。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交 通／あいばす 内田三文字バス停 ●駐車場／無

## 松元下の田の神 ▶まつもとしものたのかみ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP M-18】

高さ55cmの自然石の表面に円を刻み、円内に「田之神」と彫り、その下に「明和八年二月吉日」(明和8年→1771)とある。台座には雲電紋を刻み「元文五年二月吉日」(元文5年→1740)と刻銘されている。田の神像と台座の年代が違うことから、田の

神像の盗難後に再び作られたものであらうと思われる。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交 通／あいばす 内田三文字バス停 ●駐車場／無

## 上坊石塔群 ▶うえぼうせきとうぐん

市指定／記念物／史跡

【MAP M-18】

### 現世の安泰と来世の往生を願う逆修塔群



上坊石塔群は平安末期から南北朝にかけての石塔群で、鳥津家15代当主貴久が建てた徳昌寺が廃寺になった後、上坊観音が建立され、その跡地に石塔と逆修塔が集められたものと考えられる。

一説では、鎌倉中期に一字治城(日置市)

を築き4代続いた紀氏と奈良平安時代から鎌倉時代にかけて大隅国曾於郡・小河院(曾於市)で勢力をふるった税所氏に關係のある一族が、現世の安泰と来世の極樂往生や子孫繁栄を願う逆修塔と伝えられている。

昭和53年(1978)7月青年団や町の関係者が散乱していたものや埋もれていた石塔を復元して今日に至っている。

平成17年(2005)、鹿児島市の記念物(史跡)に指定された。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 中原橋バス停 ●駐車場／無

## 上坊観音 ▶うえんぼうかんのん

記念物／史跡

【MAP M-18】

石塔群の前面に観音堂や権現社がある。この地は鳥津家15代当主貴久が実成法印に命じて徳昌寺を造らせたところともいう。現在は、新しい堂に御影石の2m程の新しい像が祭られている。なお、上坊観音堂にあった「大慈悲」の額は、現在、小原権現にある。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 中原橋バス停 ●駐車場／無

## 内田上の僧侶墓 ▶うちだかみのそうりよばか

記念物／史跡

【MAP M-18】

高さ72cm, 下部40cm, 厚み27cmを測る板状で正面上に円を描き「心」と彫り, 中心に「道久禅定門 正保四年十月十九日」(正保4年→1647)と記す。他に3基の墓標がある。この周辺の地には寺院があったとされる。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 中原橋バス停 ●駐車場／無

## 小原権現石塔群 ▶おばらごんげんせきとうぐん

記念物／史跡

【MAP M-18】

周辺に散在していたものを集めて復元されている。五輪塔や宝塔、板碑がある。大型の五輪塔は鎌倉中期、小型の五輪塔は吉野朝のもので逆修塔ではないかと考えられる。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 内田三文字バス停 ●駐車場／無

## 小原権現 ▶おばらごんげん

記念物／史跡

【MAP M-18】

松元中学校上の東側山中にある。伊集院由緒記によれば、小原門の名頭善助が格護人で、阿弥陀立像、薬師座像、観音座像が祭られている。享保2年(1717)、寛政4年(1792)に再興されたが、由緒などは不明である。小原氏一族に信仰された権現である。



●所在地／鹿児島市上谷口町 ●交通／あいばす 内田三文字バス停 ●駐車場／無

## 春山城跡 ▶はるやまじょうあと

記念物／史跡

【MAP O-20】

築城時期や築城者は不明であるが、小字として城ヶ崎、餅ヶ丸、城、城ノ岡、火ノ丸、鉾立が残っている。周囲を河川が囲む標高231mの自然の要塞となっている。頂上付近には空堀、帯曲輪があるが小規模である。



●所在地／鹿児島市春山町 ●交通／あいばす 城バス停 ●駐車場／無

## 早馬大明神 ▶はやまだいみょうじん

記念物／史跡

【MAP O-20】

春山城跡近くの中腹のコジイの大木のたもとに有り、石祠の正面に「早馬大明神 明治三年庚午 九月二十九日(明治3年→1870)、側面に「春山村 在中 久永喜之助」と刻まれている。屋根には早馬を浮き彫りしている。



●所在地／鹿児島市春山町(寺脇公民館裏の山) ●交通／あいばす 寺脇三文字バス停 ●駐車場／無

## 石神丘の石祠 ▶いしがみおかのせきし

有形民俗文化財 / 民俗資料

【MAP O-19】

春山の台地との比高差約30mの独立丘的な頂上付近に、「延享四年」(1747)と刻銘された石祠や馬頭観音を浮き彫りし「文久二年」(1862)と刻銘されたものなどがある。「文政十二年」(1829)と刻銘され、山神として祭られている岩もある。これらのうち馬頭観音には「中宿」と刻銘されており、江戸時代中期以降鹿児島城下士が近在に中

宿と称して、一時的に寄留したことを示す貴重なものもある。



●所在地 / 鹿児島市春山町 ●交通 / 南国バス 浅敷原バス停 ●駐車場 / 無

## 彦山神社 ▶ひこさんじんじや

有形文化財 / 建造物

【MAP O-20】

彦山神社は対岸の直林寺の鎮守社として、石屋真梁和尚が創建し、天文23年(1554)直林寺の鉄岩和尚が再興修築した。祭神は<sup>おおみやのめのかみ</sup>大宮能売神、<sup>うがのみたのめのかみ</sup>宇迦御魂神、御神体は鏡である。社殿横の<sup>とうろう</sup>燈籠には、元文元年(1736)と彫られている。社殿建築は流れ造りの形式である。



●所在地 / 鹿児島市春山町 ●交通 / あいばす 春山水源地バス停 ●駐車場 / 無

## 岩屋観音 ▶いわやかんのん

記念物 / 史跡

【MAP O-20】

岩屋観音は、寛延4年(1751)に創始された。海拔240mの観音平に巨岩20余りが重なり合ってきた<sup>どうくつ</sup>洞窟である。巨岩に囲まれた洞窟の内部は7~8畳敷もあり、奥には2個の石棺がある。右の石棺に不動明王、左の石棺に観音像が安置されている。地域の人々はお産・合格祈願の神様として<sup>そんすう</sup>尊崇している。また、椋鳩十の「山幾重秋

風に坐す観世音」の句碑も巨岩に彫り込まれている。



●所在地 / 鹿児島市春山町 ●交通 / あいばす 春山水源地バス停 ●駐車場 / 有



## 直林寺跡 ▶じきりんじあと

記念物／史跡

【MAP O-20】

至徳元年(1384)に曹洞宗能登国(石川県)の総持寺の末寺として石屋真梁禪師が建立し、石屋禪師の師通幻禪師を開山とし、文安元年(1444)福昌寺の仲翁和尚が再興。

本尊は阿弥陀如来木像で、石屋和尚の歯を寺宝としたという。また、境内には地

蔵堂もあり石座像が祭られていたが、いずれも廃仏毀釈により不明。



●所在地／鹿児島市春山町 ●交通／あいばす 春山水源地バス停 ●駐車場／無

## 森園の田の神 ▶もりそののたのかみ

市指定／有形民俗文化財／民俗資料

【MAP O-20】

寛保三年の銘があり、松元地区では唯一の神舞姿



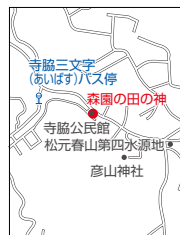
森園の田の神は、高さ83cm、幅40cmの松元地域で唯一の田の神舞神職型の立像である。右腕と胴体の間をくり抜き、背面にも袴を刻み入念な丸彫りで踊っているように見えるのが特徴である。

また、円形台座の雲竜紋の彫刻も見事である。持ち物は右手に杓子、左手に椀、か

ぶり物としてはコシキのシキを肩まで垂れるようにかぶっている。

「寛保三癸亥五月吉日、奉造立所為中」(寛保3年→1743)の刻銘がある。

平成17年(2005)、鹿児島市の有形民俗文化財(民俗資料)に指定された。



●所在地／鹿児島市春山町(寺脇公民館横) ●交通／あいばす 寺脇三文字バス停 ●駐車場／無

## 龍山和尚の墓 ▶りゅうざんおしょうのか

記念物／史跡

【MAP O-19】

高さ200cmくらいの自然石の正面に「龍山」と毛彫り状に大きく彫りこんである。龍山とは直林寺の住職の龍山和尚のことである。言い伝えによると、遺言で「自分が死んだら神の川の見える高所に葬ってくれ」とのことで、寺より離れたこの高台の地に葬ったという。



●所在地／鹿児島市春山町 ●交通／あいばす 寺脇バス停 ●駐車場／無

## 下り山の山神 ▶さがりやまのやまがみ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP N-20】

3基の石祠の山神と1基の石燈籠がある。1基の石祠の側面には「天明二寅年十一月廿九」(天明2年→1782)が刻銘されている。



●所在地／鹿児島市春山町 ●交通／あいばす 天野印刷バス停 ●駐車場／無

## 春山の石敢當 ▶はるやまのせっかんとう

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP N-19】

三叉路の突き当たりの土手にあり、高さ40cm、幅19cmの自然石の表面に「石敢當」と彫り込んである。



●所在地／鹿児島市四元町 ●交通／あいばす 四元交差点バス停 ●駐車場／無

## 聖神社 ▶ひじりじんじや

有形文化財／建造物

【MAP N-20】

聖神社は、棟札によると永禄8年(1565)拝殿が造営され、境内には「天文四年四月」(天文4年→1535)刻銘の石燈籠がある。祭神は素戔雄命で、神之川から来られた神が川上を望まれて遷座されたという言い伝えがある。御神体は鏡と木像である。



●所在地／鹿児島市四元町 ●交通／あいばす 四元交差点バス停 ●駐車場／無

## 春山の太鼓橋 ▶はるやまのたいこばし

有形文化財／建造物

【MAP N-19】

大正10年(1921)6月に架橋された1連の石造太鼓橋で、隣接して架橋記念碑が建てられている。春山から四元に通ずるかつての幹線道路に架かる石橋で、巾4m、長さ10mの石造りのアーチ橋である。この橋は工事費1575円(うち550円を地区民が負担)で架けられた。住民一体となつての橋の建造の要望により完成した。



●所在地／鹿児島市春山町 ●交通／あいばす 篠原掘バス停 ●駐車場／無

## 鎮守神社 ▶ちんじゅじんじや

有形文化財／建造物

【MAP L-18】

大永6年(1526)に造立され、それから162年後の江戸時代に再築されたといわれる。祭神は仲哀天皇、神功皇后、応神天皇、御神体は鏡である。土地の人々は「若宮神社」または「おぶなサア」とも呼んでいる。下伊集院野田から移したという説もあるが、入佐の若宮田にあったものを一緒に移したという説もある。現在の拝殿は、昭和49年(1974)1月に改築された。



●所在地／鹿児島市直木町 ●交通／あいばす 下直木バス停 ●駐車場／無

## 熊鷹神社 ▶くまたかじんじや

有形文化財／建造物

【MAP L-19】

祭神は日本武尊、御神体は鏡(以前は熊鷹の絵)で、社殿は以前、現在地から150mの丘の上であったが、昭和16年(1941)4月12日に現在地に移転・改築した。土地の人は、「熊鷹大明神」とも呼んでいる。



●所在地／鹿児島市直木町 ●交通／あいばす 山方三文字バス停 ●駐車場／無

## 東照寺跡 ▶とうしょうじあと

記念物／史跡

【MAP L-19】

伊集院由緒記によると、東照寺は天明7年(1787)に廃寺となっている。現在、「延宝四年」(1676)銘の常永禪定門、他2基の僧都墓及び十数基の近世墓が残されている。



●所在地／鹿児島市直木町 ●交通／あいばす 東昌小前バス停 ●駐車場／無

## 東照寺跡の地藏堂 ▶とうしょうじあとのじぞうどう

記念物／史跡

【MAP L-19】

現在は新しい覆屋が造られ、内部に高さ50cmの木立像の地藏が祭られている。木像は朽ちてはいるが、原型はとどめている。



●所在地／鹿児島市直木町 ●交通／あいばす 東昌小前バス停 ●駐車場／無

## 直木山方の田の神 ▶なおきやまがたのたのかみ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP L-19】

自然石に浮き彫りした高さ58cmの僧型の田の神像である。右手に杓子、左手に腕を持ち、頭にはコシキのシキをかぶり左右の肩まで垂れている。台座には「宝暦三癸酉」(宝暦3年→1753) 田の神本体には「寛政四二月吉日」(寛政4年→1792)と刻銘され

ていることから、盗難にあつてその後改めて造立した可能性がある。



●所在地／鹿児島市直木町 ●交通／あいばす 山方三文字バス停 ●駐車場／無

## 直木牟田の田の神 ▶なおきむたのたのかみ

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP L-20】

台座と1体となった高さ55cmの旅僧型の田の神立像である。右手に杓子、左手に腕を持つ。頭にはコシキのシキをかぶり、袴をはき、前向きに紐で結ぶ姿をしている。「宝暦三年癸酉一月吉日」(宝暦3年→1753)などの刻銘がある。



●所在地／鹿児島市直木町 ●交通／あいばす 牟田バス停 ●駐車場／無

## 松元町入佐の田の神 ▶まつもとちょういりさのたのかみ

県指定／有形民俗文化財／民俗資料

【MAP K-19】

### 享保12年の銘がある典型的な僧型立像の古い田の神



像の高さ96cmの立像で大きな岩の上に台座付きで立てられている。白黄色の粗い凝灰岩で顔から胸にかけて霜による風化が見られる。かぶっているのはコシキのシキで、袖の長い衣にひだの多い長袴をつけて

いる。右手に杓子、左手に棒状のスリコギを持つ。像の背部には享保12年(1727)に造立したこと、「作者西郷五郎兵衛、主取川畑利兵衛」他4名の名前や「新村中誓衆三十三人」と刻銘していることから、旧郷士集落である新村の郷士たちだけで像立したものであると考えられる。古い田の神石像で、僧型の典型的なものである。

昭和43年(1968)、鹿児島県の有形無形文化財(民俗資料)に指定された。



●所在地／鹿児島市入佐町 ●交通／あいばす 消防車庫前バス停 ●駐車場／無

## 仙寿院跡 ▶せんじゅいんあと

市指定／記念物／史跡

【MAP L-19】

### 伊集院妙円寺の末寺で、歴代住職の墓などが残る



仙寿院は、伊集院妙円寺(1390年創建)の末寺で、釈迦如来を本尊とし、愚丘妙智大和尚が開山する。初め大円庵とよんでいたが、後すたれ、36代の大光和尚の時、地頭の許可を得て再興した。さらに、享保20

年(1735)永吉の梅天寺の富山和尚を招いて中興した寺跡である。

小石に妙法華経を1字ずつ書いて埋めた一字一石の塔には「延享二歳乙丑七月二十六日 仙寿院中興功德吞林」(延享2年→1745)などが刻まれている。また和尚の墓碑、卵塔、観音像、燈籠が残っている。

平成17年(2005)、鹿児島市の記念物(史跡)に指定された。



●所在地／鹿児島市入佐町 ●交通／あいばす 消防車庫前バス停 ●駐車場／無



## 大鳥神社 ▶おおとりじんじや

有形文化財／建造物

【MAP K-19】



祭神は日本武尊<sup>やまとたけのみこと</sup>、御神体は鏡(11面観音の彫刻有り)である。「入佐棒踊り<sup>いしどうろう</sup>」はこの神社に奉納後、地域集落を巡回する習わし<sup>なわ</sup>

となっている。昭和13年(1938)に入佐の口之坪(通称ヒョウタン山)から現在地に移転・改築されたと境内の大鳥神社移転改築記念碑に書かれている。

境内には「享保十三年」(1728)と刻銘された石燈籠<sup>いしどうろう</sup>1基、「元文四年」(1739)と刻銘された石鉢、石塔がある。



●所在地／鹿児島市入佐町 ●交通／あいばす 消防車庫前バス停 ●駐車場／有(お伊勢岡公園)

## 伊勢ヶ丘の石造物 ▶いせがおかのせきぞうぶつ

記念物／史跡

【MAP K-19】



「享保十年九月吉日」(享保10年→1725)と刻銘された馬頭観音や、「元禄十五年十

月十日」(元禄15年→1702)と刻銘された浮彫りの仏像の墓標のほか、通称の「お伊勢ヶ丘」の元となった伊勢神宮とされる大神宮の石碑が建立されている。



●所在地／鹿児島市入佐町(お伊勢岡公園展望台横) ●交通／あいばす 消防車庫前バス停 ●駐車場／有(お伊勢岡公園)

## 百田の水神 ▶ひゃくだのすいじん

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP K-18】

自然石の正面に「水神」、側面に「明治三十月吉日」(明治3年→1870)と刻銘されている。



●所在地／鹿児島市入佐町 ●交通／県道35号線から湯穴口橋より永吉川上流へ 久木田橋より100m程下流の川沿い ●駐車場／無

## 百田の庚申塔 ▶ひゃくだのこうしんとう

有形民俗文化財／民俗資料

【MAP K-18】

入母屋の屋根を有し、正面に三角形の透かしがある。高さ91cmで側面に「奉供養石井手 宝暦二年〇〇正月造〇」（宝暦2年→1752）の他供養者26名の名前が刻銘されている。



●所在地／鹿児島市入佐町 ●交通／県道35号線から湯穴口橋より永吉川上流へ 久木田橋より200m程下流の川沿いの土手 ●駐車場／無

## 口ノ坪の五輪塔 ▶くちのつぼのごりんとう

記念物／史跡

【MAP K-19】

シラス崖が湧水で浸食されてできた洞穴内に十数基の五輪塔が置かれている。復元してはあるが本来の組合せかどうかはわからない。一説には、廃仏毀釈時に隣接する吹上の毛野院から運んだといわれる。



●所在地／鹿児島市入佐町 ●交通／入佐旧大鳥神社跡の西約100m里道脇, 約10mぐらい入った崖の下の洞穴の中 ●駐車場／無

## 石塔の種類

石塔とは塔婆の一種である。本来は仏舎利を安置するためのものであるが、後に墓としてつくられるようになった。故人の死後その追善のために立てられる追善供養塔と生きているうちに自身の供養しておく逆修供養塔として建立されている。

塔には相輪をもつ層塔・宝塔・宝篋印塔のほか僧侶の墓塔としてよく用いられる無縫塔（卵塔）、日本で密教的世界観に基づいて作られた五輪塔やそれをもとに造られた板碑などさまざまな形態がある。

これらの石塔のうち五輪塔は五大をかたどった五つの部分からなる塔で、地輪は方形、水輪は円形、火輪は三角形、風輪は半月形、空は宝珠形である。一石で作ったものもあり一石五輪塔と呼んでいる。

層塔は、屋根の層塔が幾重にも層をなしている。

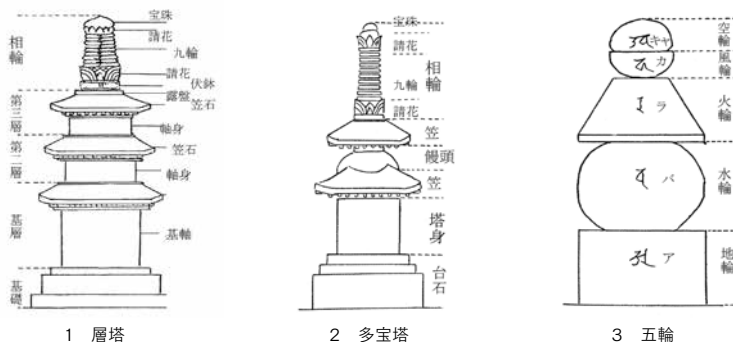
多宝塔では、多くの層からなる塔で初層は方形、二層は円形、屋根は再び方形を

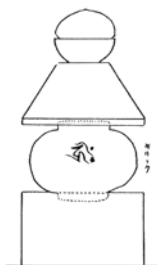
なし、上に相輪を置く。一般的には覆鉢形の塔身の上に蓋と相輪とを置いたものを宝塔といい、その腰部に裳階をつけた塔を多宝塔と呼んでいる。

宝篋印塔は本来は宝篋印陀羅尼の呪文を納めた塔であるが、後に供養塔・墓碑として建てられた。基礎・塔身・笠・相輪からなり笠の四隅には隅飾、相輪は円柱である。

板碑は、頭部を山形に作り、その下に二段の切り込み、額部、身部下の根部を作る板状の石塔である。

鹿児島市内では、高さ3mに及ぶ壮大な2基の層塔を中心に五輪塔、角石塔婆、笠塔婆、小五輪塔などがある郡山川川田堂園の供養塔群（川田町）や2mに及ぶ宝塔や五輪塔のある上坊石塔群（上谷口町）の他、高さ90cmで表面に「南無阿弥陀仏」の名号が刻まれている大永の名号板碑（郡元）などが知られている。

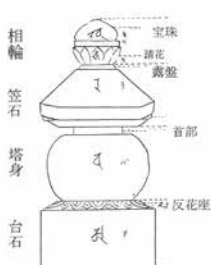




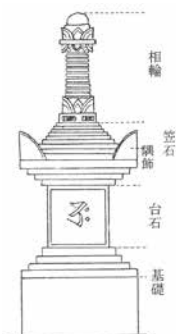
4 天台の五輪塔  
(有軸五輪塔)



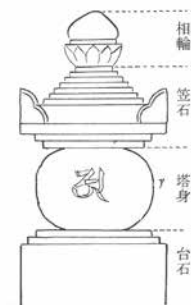
5 宝塔



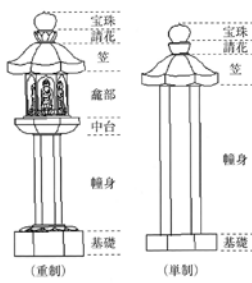
6 五輪塔の宝塔



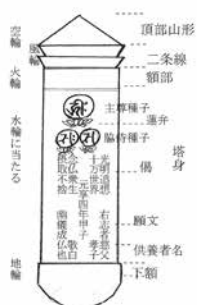
7 宝篋印塔  
ほうきょういんとう



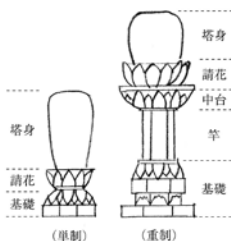
8 五輪塔の宝篋印塔



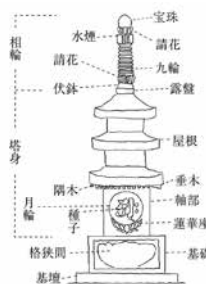
9 石幢  
せきどう



10 板碑



11 無縫塔(卵塔)



12 層塔(水煙の説明あり)

長足五輪塔 (旧鶴田町柏原)

